

2013年4月16,17日

# 個人投資家向け会社説明会 資料

代表取締役社長 秋沢英海

ウイン・パートナーズ株式会社  
WIN-Partners Co., Ltd.



証券コード: 3183



# 目次



|                       |    |
|-----------------------|----|
| 会社概要                  | 3  |
| ウイン・パートナーズ発足          | 4  |
| 会社概要                  | 6  |
| 基本方針                  | 7  |
| グループ成長戦略              | 15 |
| 市場環境と事業内容             | 16 |
| 日本の医療制度               | 17 |
| 市場規模                  | 19 |
| 主要取扱製品                | 20 |
| 主要子会社の状況              | 30 |
| ウイン・インターナショナル 第3四半期決算 | 31 |
| ウイン・インターナショナル 製品別売上高  | 32 |
| ウイン・インターナショナル 通期予想    | 34 |
| 株主還元                  | 37 |

## 1. 会社概要

---

# ウィン・パートナーズ発足（ジャスダック3183）



2013年4月、医療機器商社 ウィン・インターナショナル  
とテスコが経営統合し、ウィン・パートナーズが発足しました



| ウイン・インターナショナル |                                    | テスコ   |                       |
|---------------|------------------------------------|-------|-----------------------|
| 1983年         | 東京都に医療機器販売を目的としてタクミコンサーン設立         | 1973年 | 仙台市に医療機器販売を目的としてテスコ設立 |
| 1993年         | 商号をウイン・インターナショナルに変更                | 1976年 | 福島営業所開設               |
| 2002年         | 株式を店頭登録                            | 1988年 | 郡山営業所開設               |
| 2004年         | ジャスダックに株式を上場                       | 1990年 | 福島営業所を支店に昇格           |
| 2013年         | ジャスダック上場廃止                         |       |                       |
| 2013年         | 経営統合により、ウイン・パートナーズ設立<br>ジャスダックに再上場 |       |                       |

# 会社概要



証券コード : 3183 JASDAQ(スタンダード)

本社 : 東京都台東区台東四丁目24番8号

資本金 : 5億5千万円

事業内容 : 医療機器販売等を行うグループ企業の経営管理

代表者及び役員構成 : 代表取締役社長 秋沢 英海  
他、取締役 4名(うち、社外取締役 1名)  
監査役 3名(うち、社外監査役 2名)

100%連結子会社 : (株)ウイン・インターナショナル、テスコ(株)

グループ従業員数 : 352名(平成25年4月1日現在)

発行済株式数 : 14,354,222株(自己株式を除く)

## 企業理念

- すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献します

## 企業ビジョン

- 新しいニーズを創造し、次世代医療関連ビジネスのリーディングカンパニーを目指します

当グループは、当社及び連結子会社2社からスタートします

当社の理念に共感いただける企業を今後もパートナーとして迎え入れ、企業価値の拡大を図ります

# ロゴマークの由来



幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表します  
三角形の組み合わせは、より良い社会に向けて自在に形を変え、進化しながら  
高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます

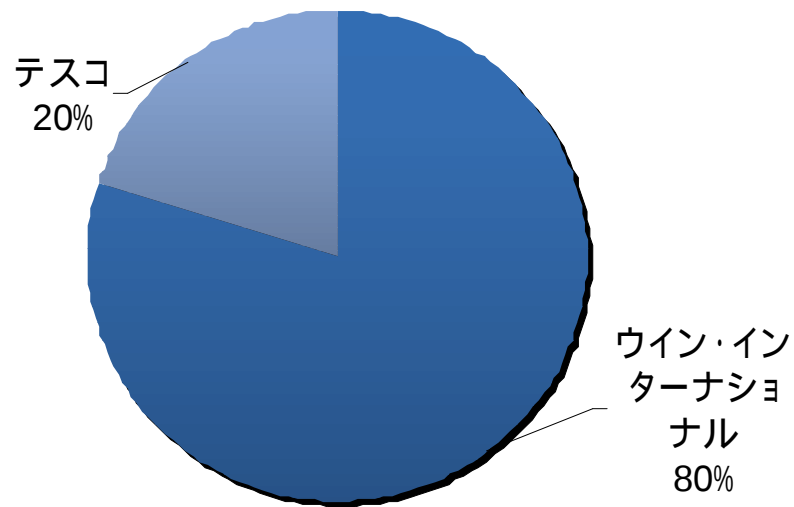
すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ

# 売上規模は400億円超

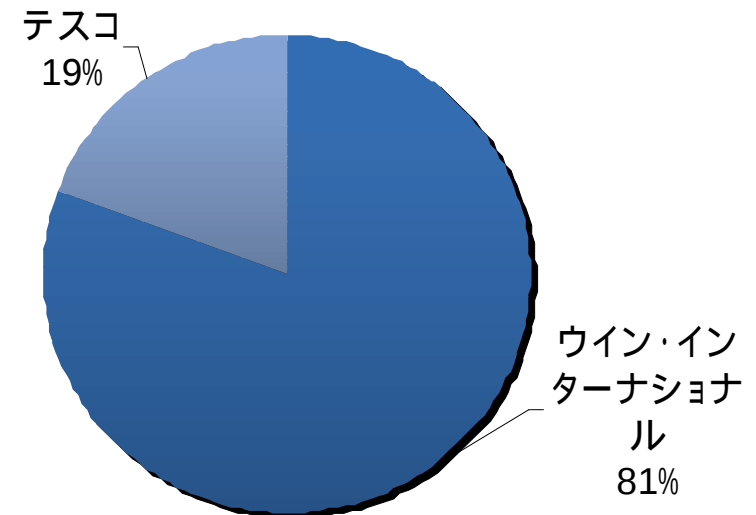


|       | ウィン・インターナショナル |            | テスコ         |            | 2社単純合算 |            |
|-------|---------------|------------|-------------|------------|--------|------------|
|       | 2012年3月期      |            | 2012年5月期    |            |        |            |
|       | 金額<br>(百万円)   | 百分比<br>(%) | 金額<br>(百万円) | 百分比<br>(%) | (百万円)  | 百分比<br>(%) |
| 売上高   | 32,957        | 100.0      | 8,380       | 100.0      | 41,337 | 100        |
| 営業利益  | 1,648         | 5.0        | 396         | 4.7        | 2,044  | 4.9        |
| 経常利益  | 1,657         | 5.0        | 341         | 4.1        | 1,999  | 4.8        |
| 当期純利益 | 955           | 2.9        | 159         | 1.9        | 1,115  | 2.7        |
| 総資産   | 16,595        | -          | 4,444       | -          | 21,039 | -          |
| 純資産   | 7,259         | -          | 2,152       | -          | 9,412  | -          |

## 事業会社別売上高構成比



## 事業会社別営業利益構成比



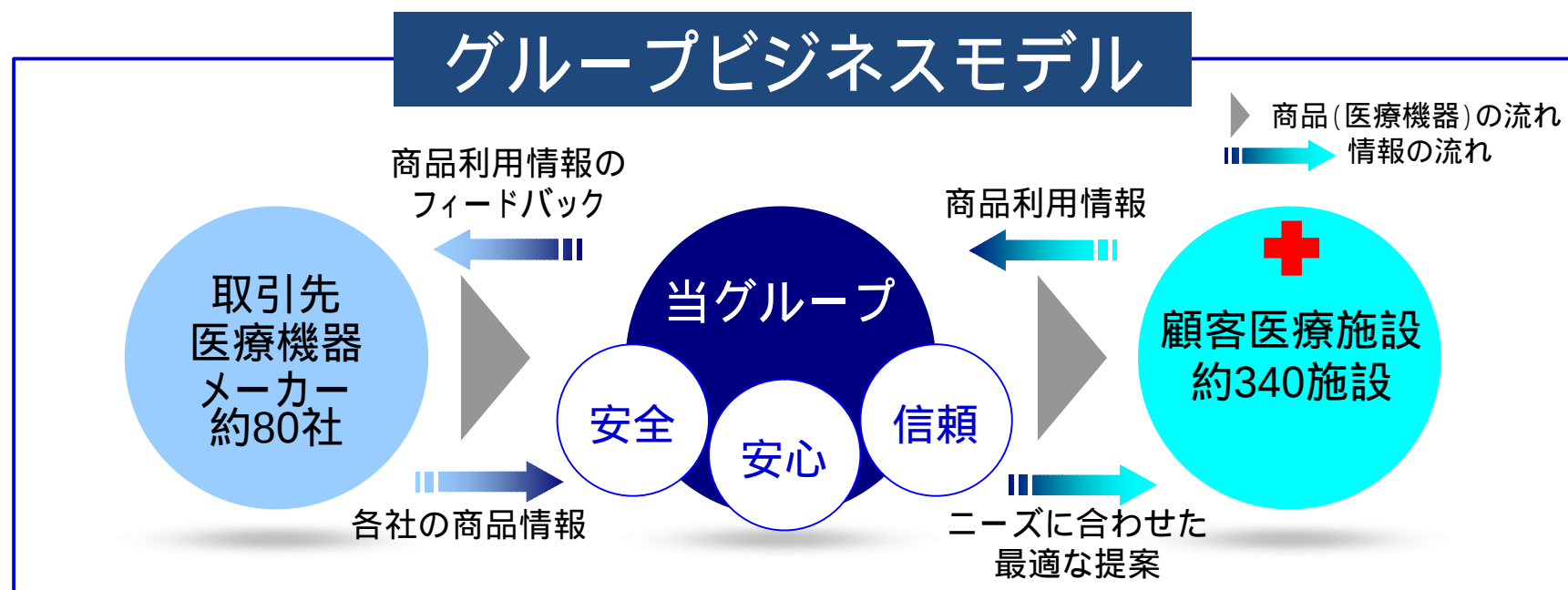
# 連結子会社のビジネスモデルはほぼ同じ



## ・循環器系の低侵襲治療分野に特化

高度な商品知識とサービスの提供  
医療現場のニーズに合った提案型の営業体制  
顧客は有力医療施設

## ・心臓カテーテルでトップシェア



## 低侵襲とは

検査や治療において、身体に対する侵襲、  
つまり**身体的負担（熱・出血・苦痛）を**  
**できるだけ少なくすること。**

患者様の**生活の質（QOL=Quality of life）を向上**  
させることが可能で、  
このような治療法が増えてきております。



# 首都圏、東北地域に強み

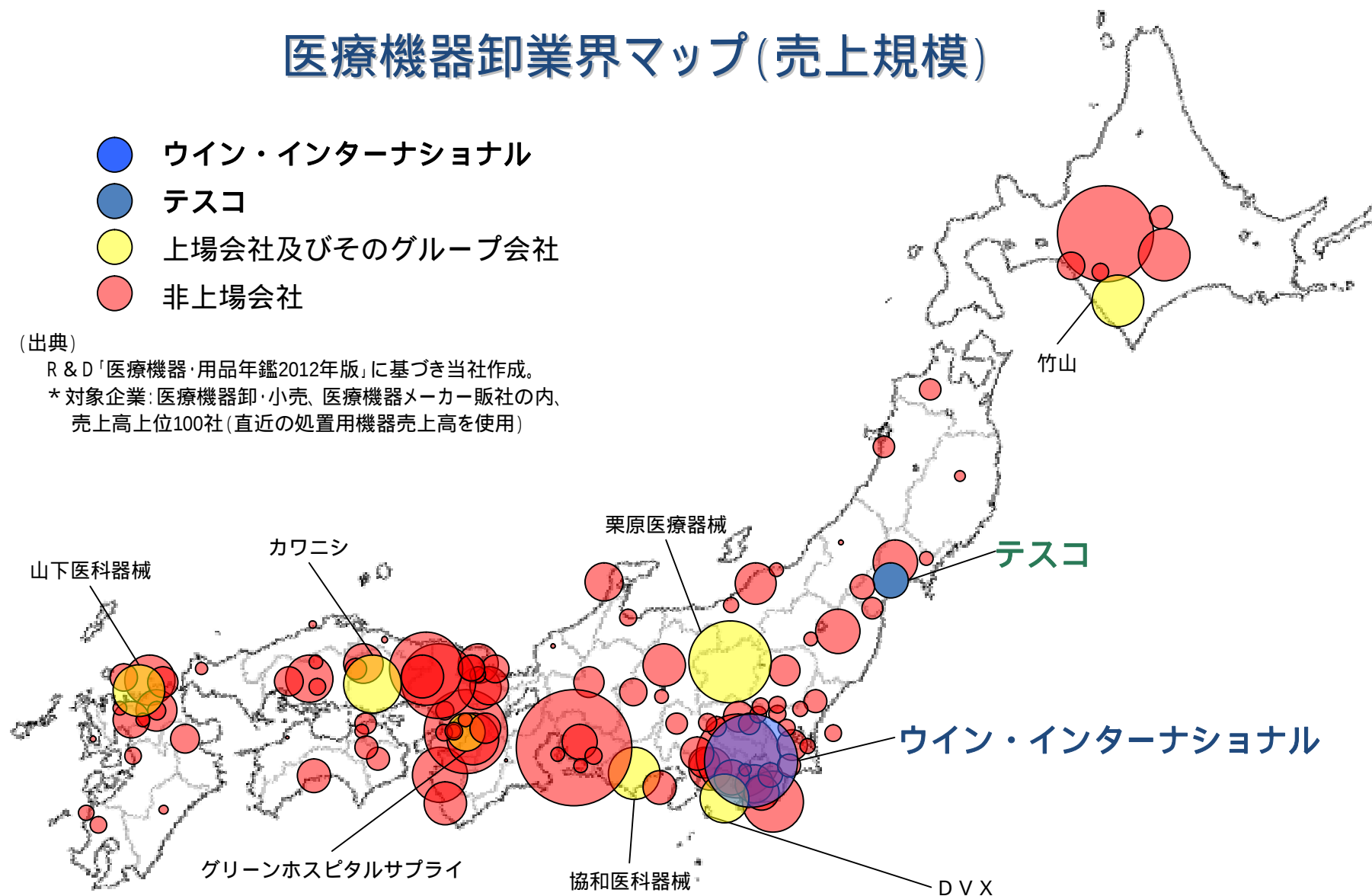
## 医療機器卸業界マップ(売上規模)

- ウイン・インターナショナル
- テスコ
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R & D「医療機器・用品年鑑2012年版」に基づき当社作成。

\* 対象企業: 医療機器卸・小売、医療機器メーカー販社の内、  
売上高上位100社(直近の処置用機器売上高を使用)



# 営業拠点ネットワーク



(医療機器販売事業)

<エリアマネジメント>  
第一～六営業部

+

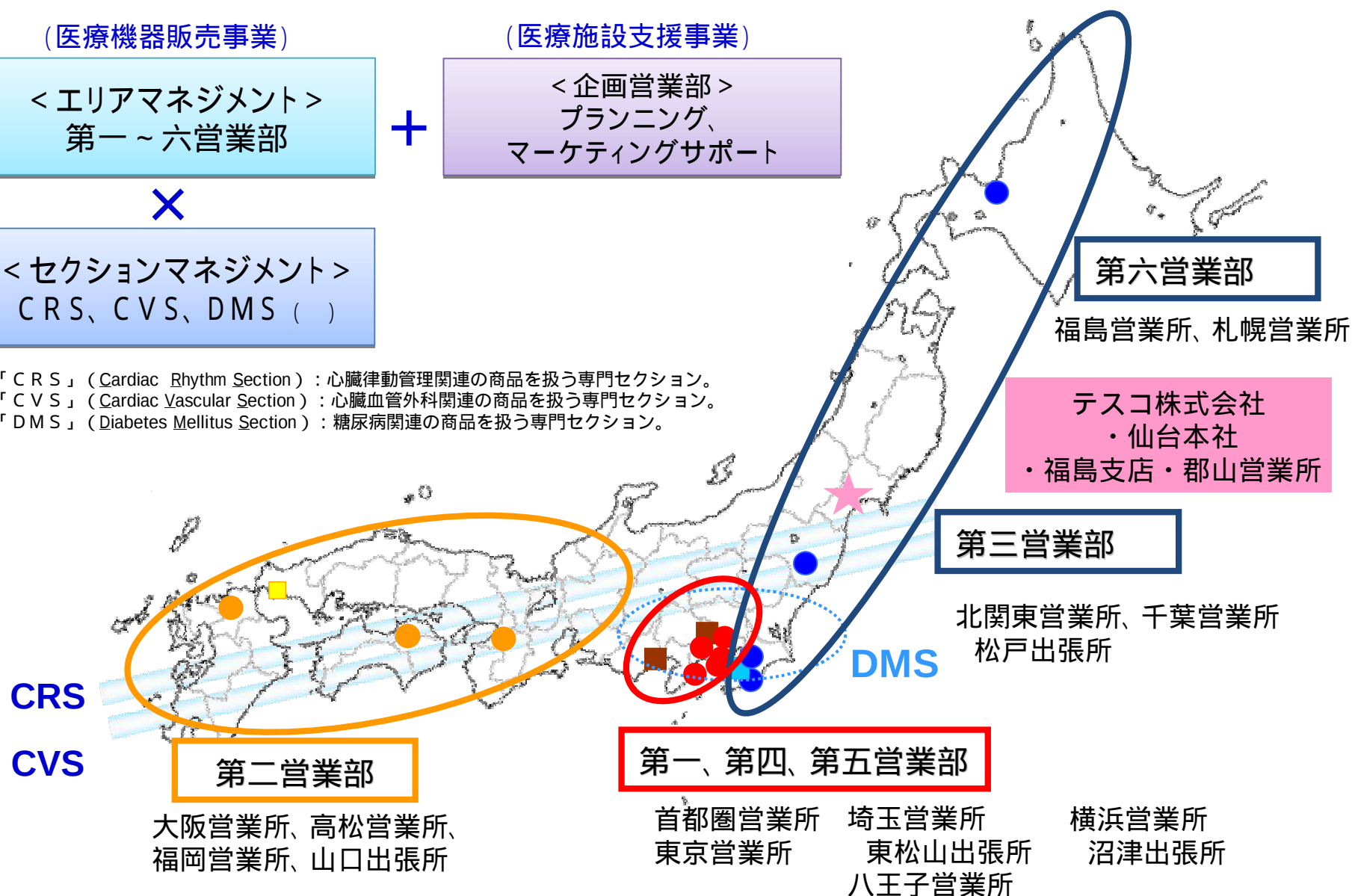
(医療施設支援事業)

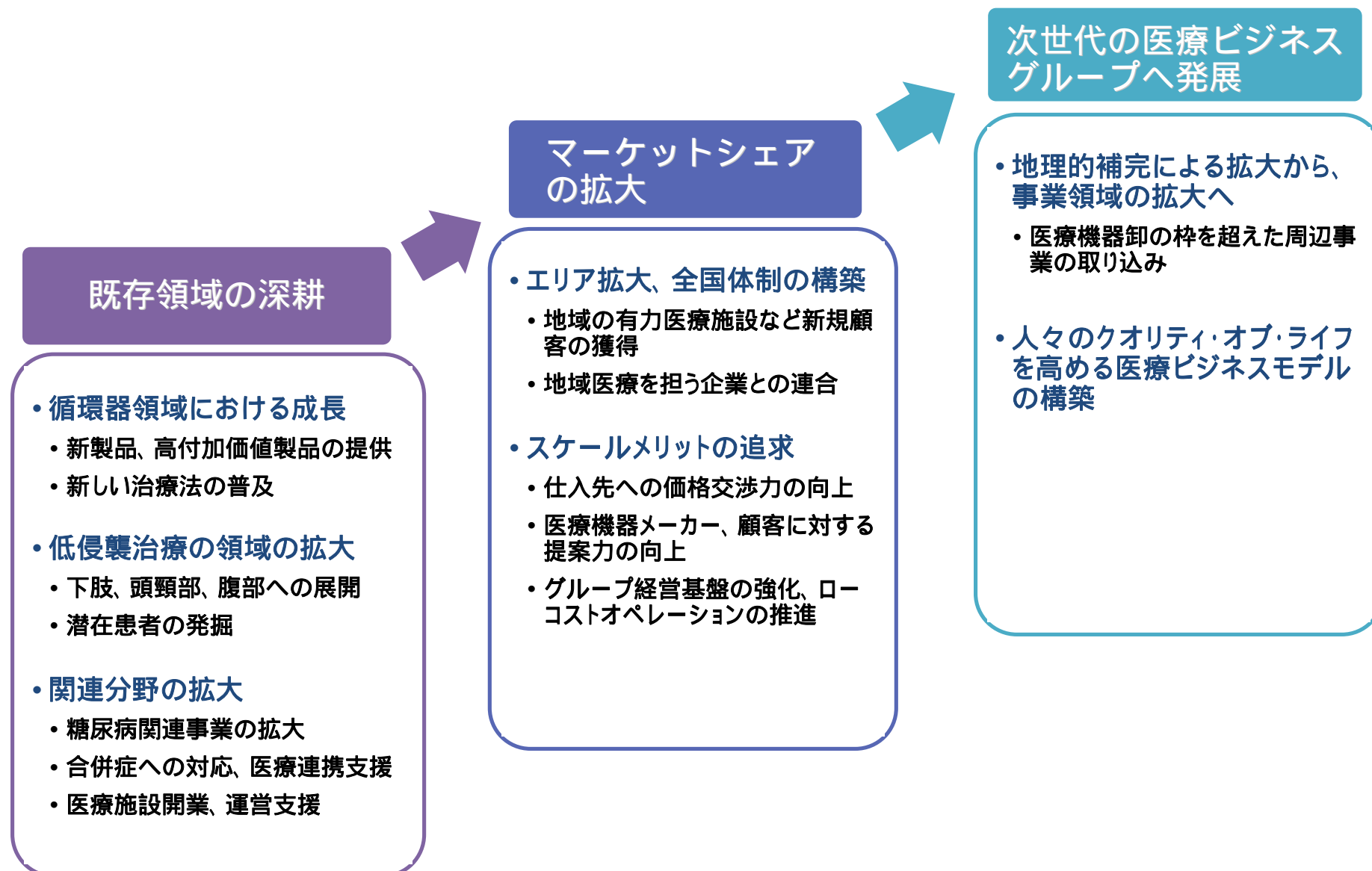
<企画営業部>  
プランニング、  
マーケティングサポート

×

<セクションマネジメント>  
CRS、CVS、DMS ( )

- ( ) 「CRS」(Cardiac Rhythm Section) : 心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。  
「CVS」(Cardiac Vascular Section) : 心臓血管外科関連の商品を扱う専門セクション。  
「DMS」(Diabetes Mellitus Section) : 糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。





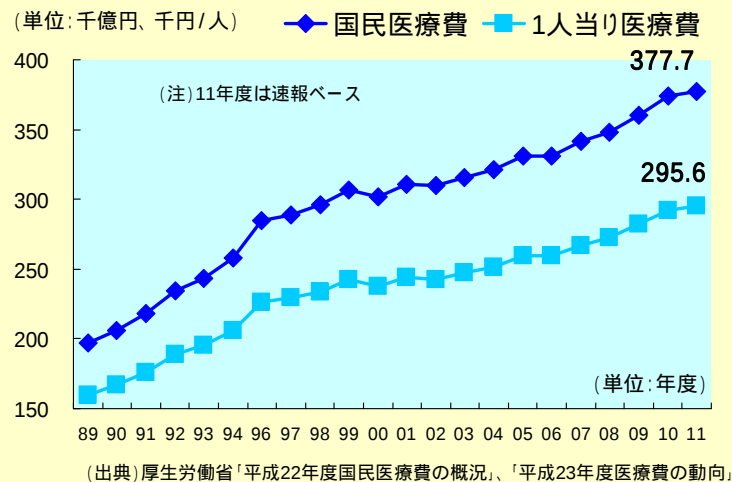
## 2 . 市場環境と事業内容

---

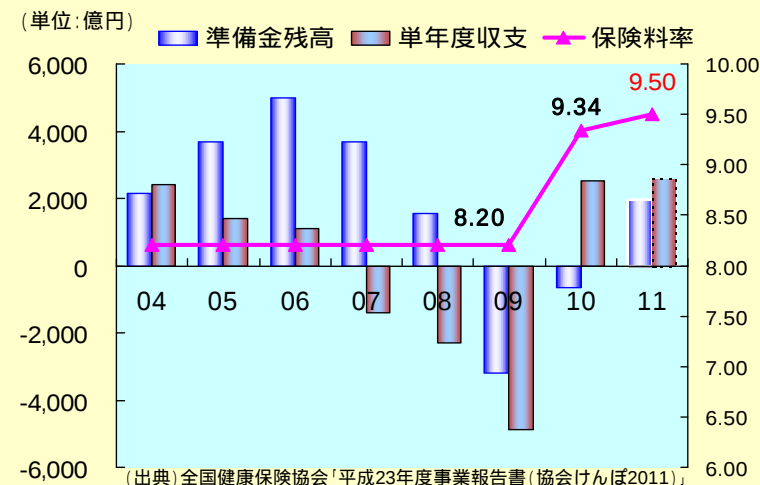
# 日本の医療は制度疲労を起こしている

## 医療制度の問題

### 国民医療費の増大



### 保険財政の逼迫

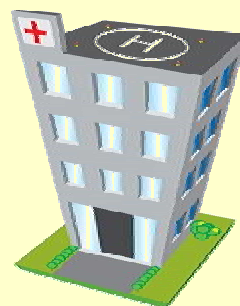


## 必要な取り組み

### 効率的・効果的な医療資源の配分



医療費の最適化  
適正化余地の追及



病院経営の合理化  
(集中と選択)

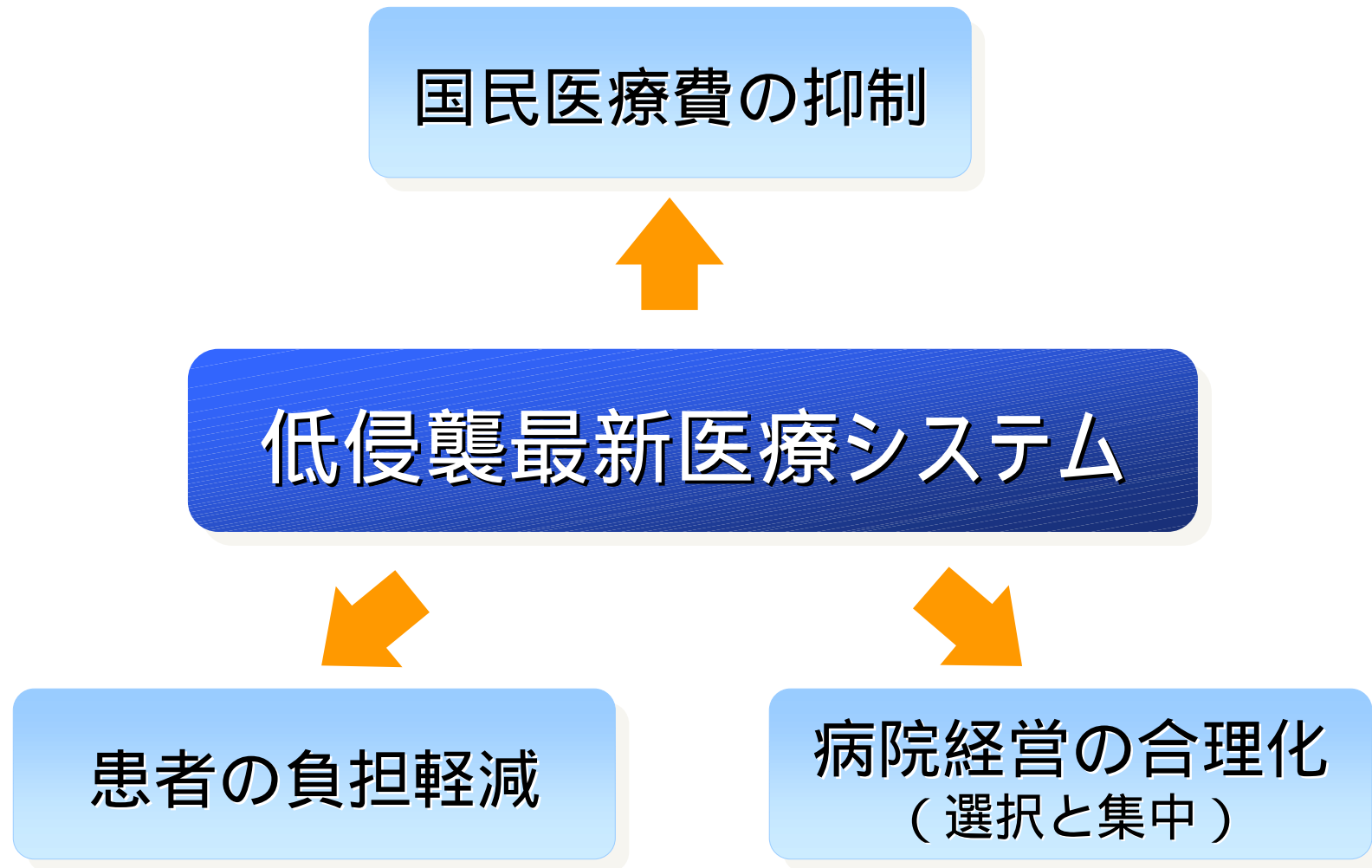
### 高品質・効率的医療の提供



より効果的な治療  
必要とされる分野の充実



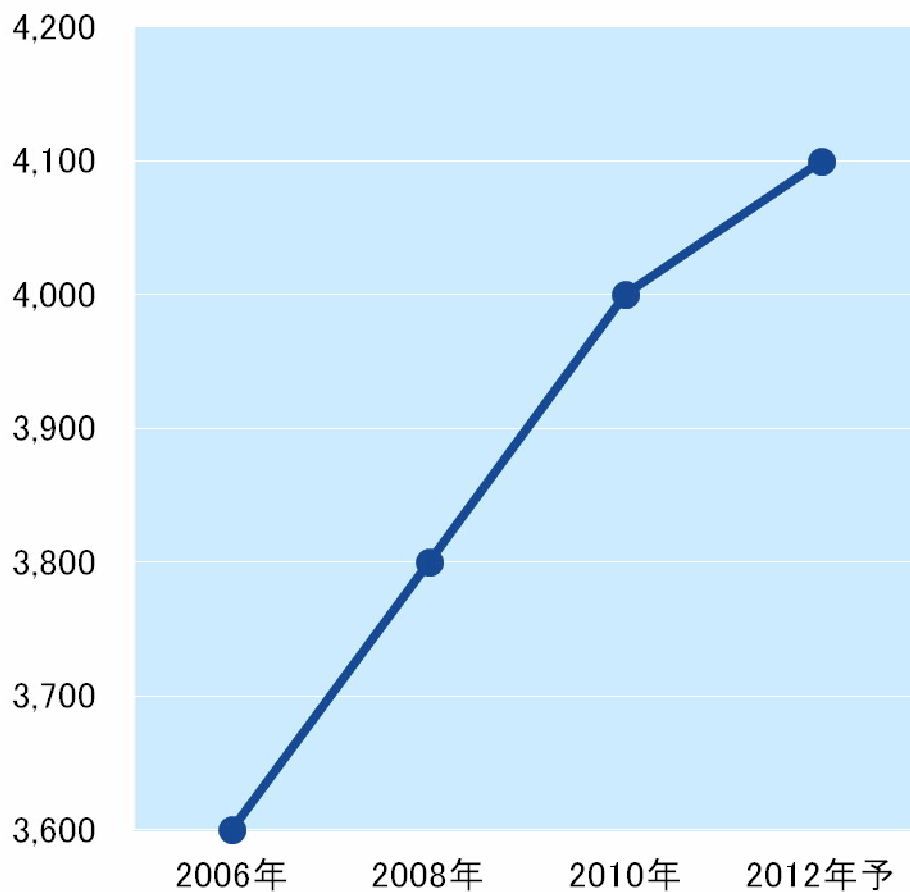
最新医療技術の  
促進・導入



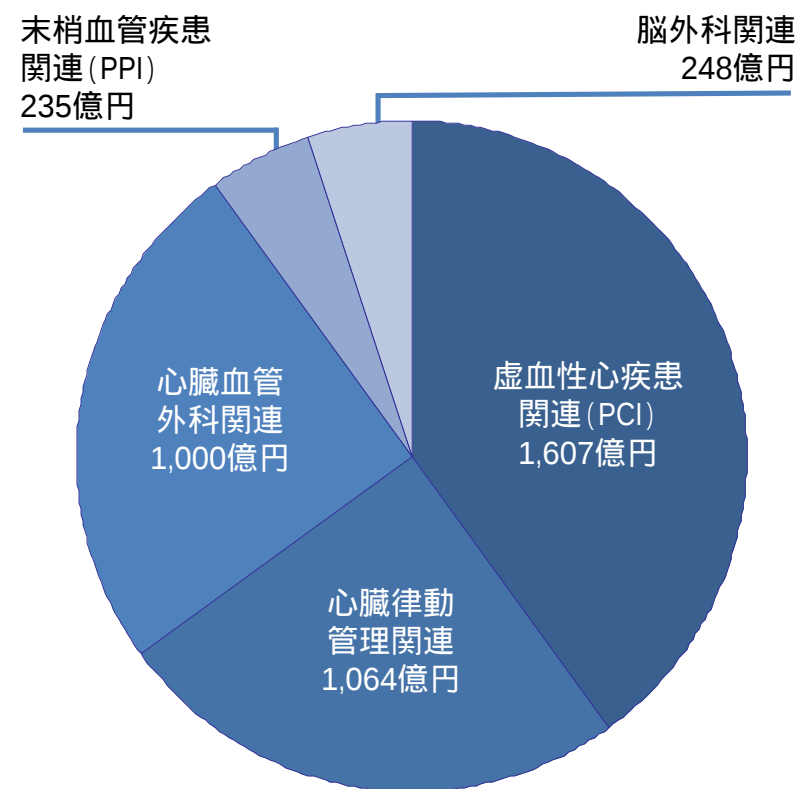
## ターゲット市場は約4,100億円

(単位: 億円)

### ターゲット市場推移



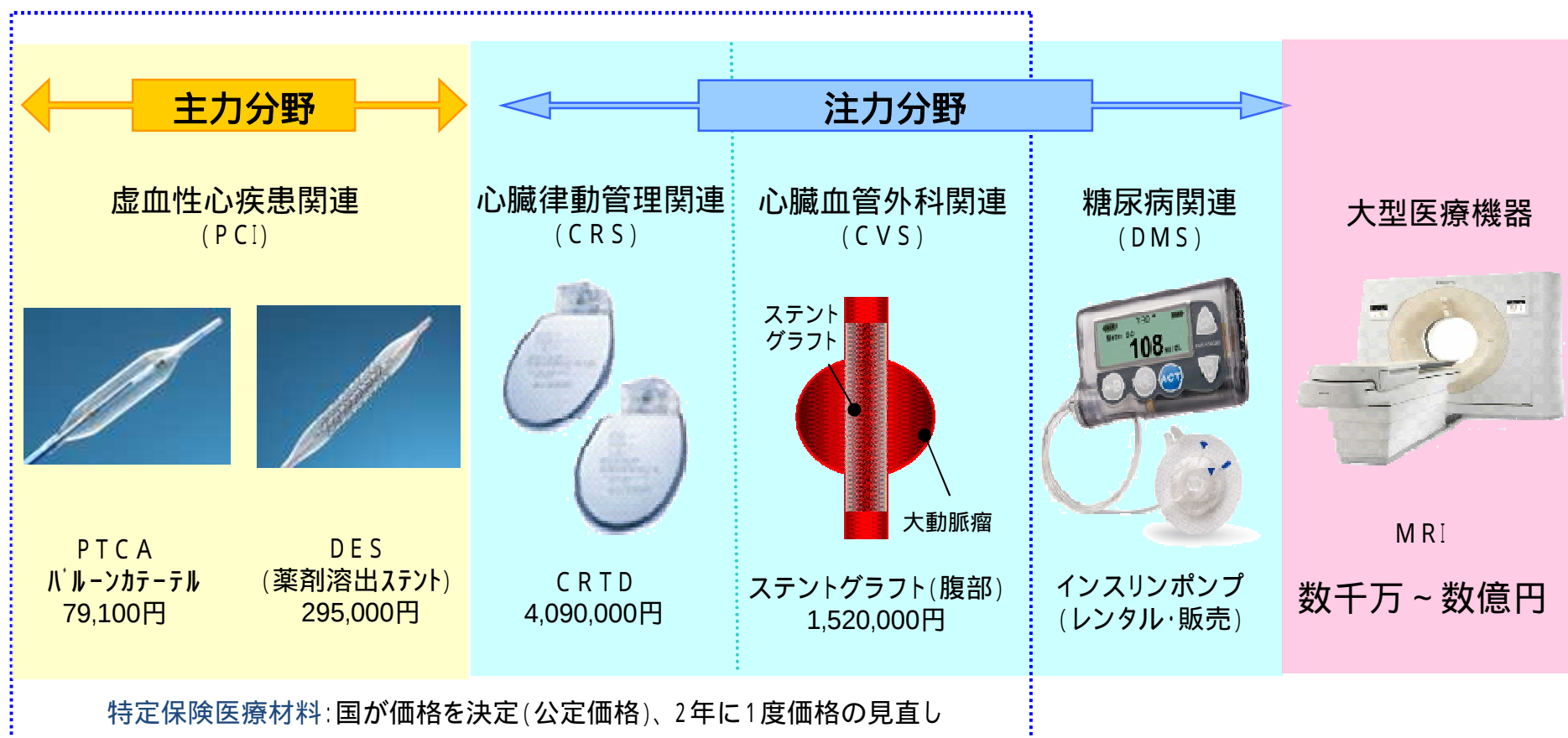
### ターゲット市場内訳



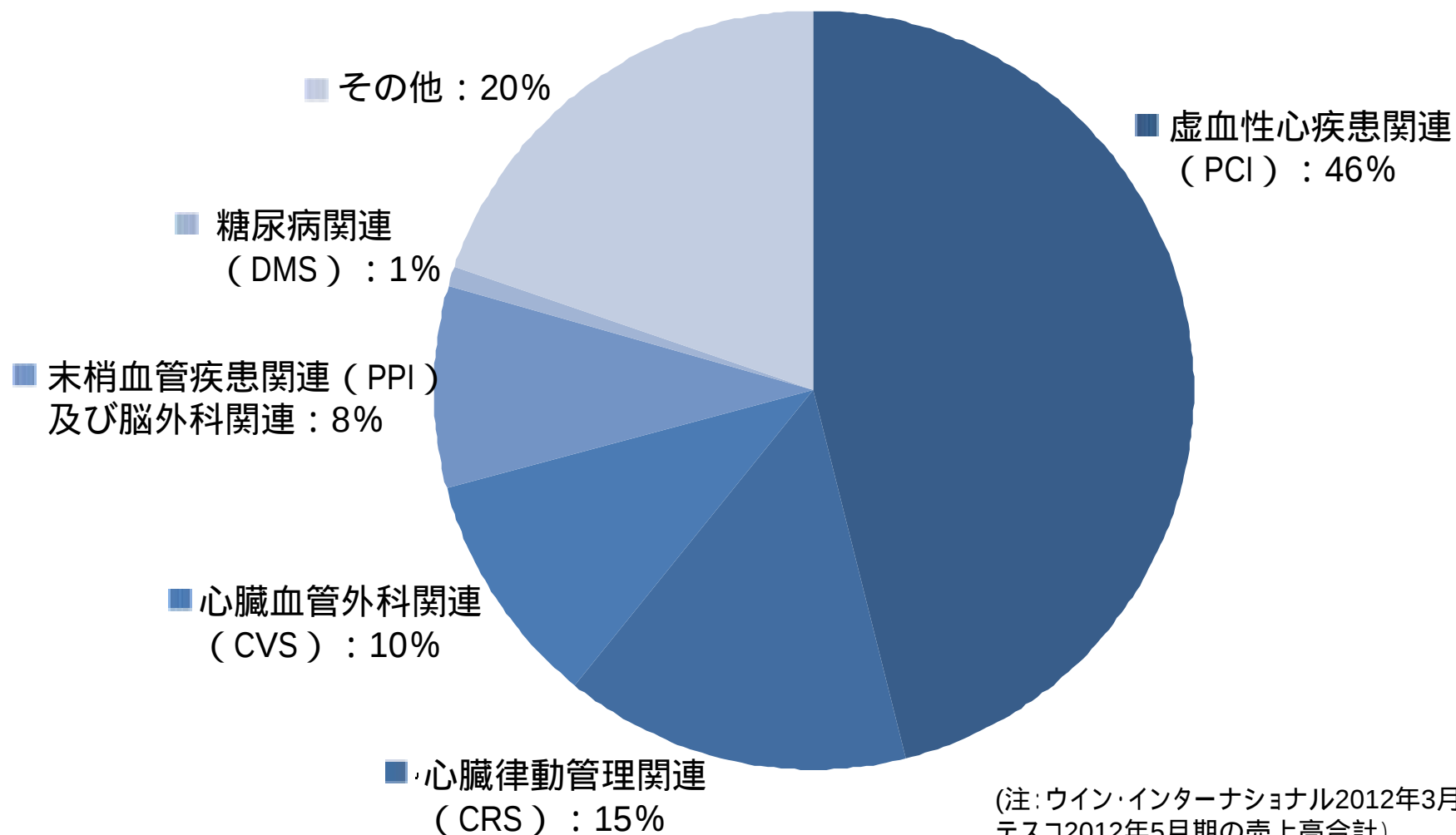
出典

株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2012年版」  
最新市場規模(2011年度)の数値を使用。

## 低侵襲治療、心臓治療の医療機器が主軸



## 2011年度グループ売上構成比



(注: ウイン・インターナショナル2012年3月期、  
テスコ2012年5月期の売上高合計)

# 虚血性心疾患関連 (PCI)

## 経皮的冠動脈形成術

狭心症など血管が狭まり血流が悪化する疾患(虚血性心疾患)を血管内部から治療する方法

### PTCAバルーンカテーテル



狭窄(血管が狭くなること)箇所ではバルーンを膨らませ、血管を広げ血流を改善させる。

[治療イメージ]

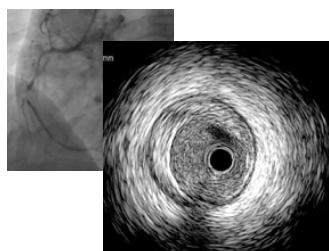


### DES (薬剤溶出ステント)



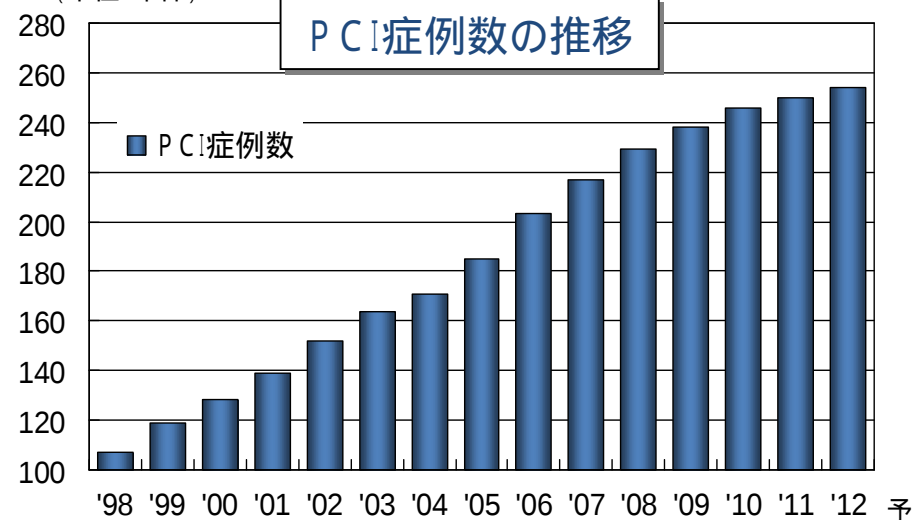
狭窄箇所では筒状の網目の金属(ステント)を留置し、再狭窄を防ぐ。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。薬は時間をかけて溶出する。

### IVUS (血管内超音波診断用カテーテル)



超音波で血管内部を映像化する診断装置用カテーテル。PCIの前後に使用する。

(単位: 千件)



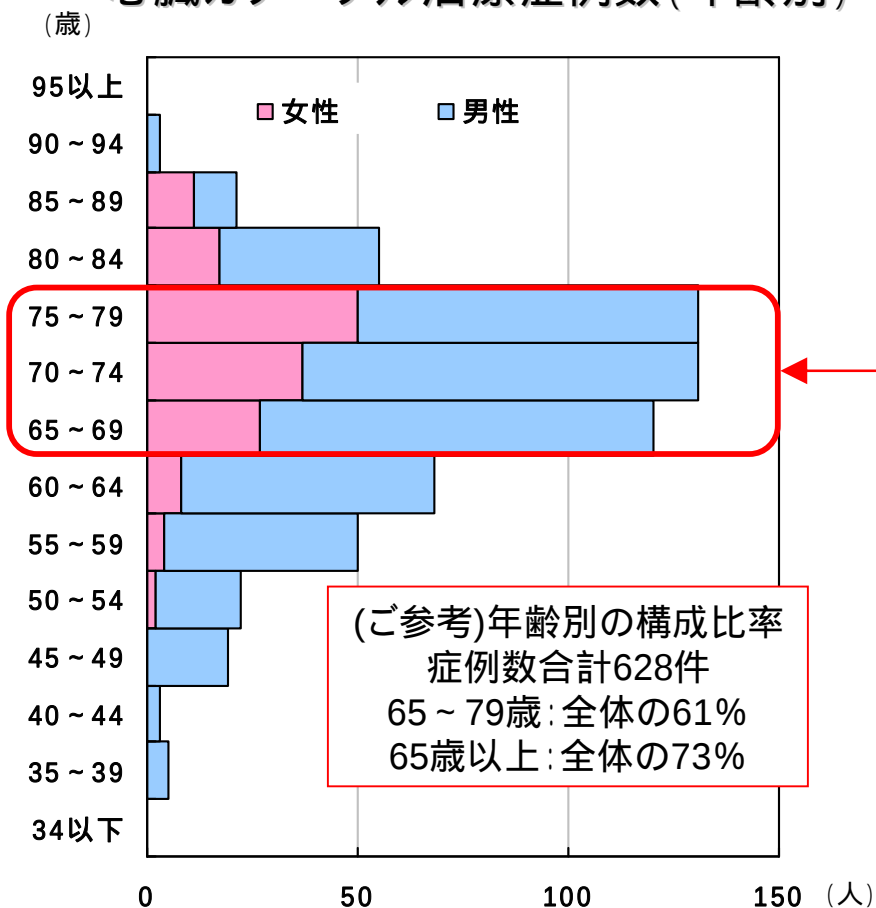
(出典) R & D「医療機器・用品年鑑2012年版」

# PCI市場～高齢化が追い風



## PCIの中心患者は65歳～79歳

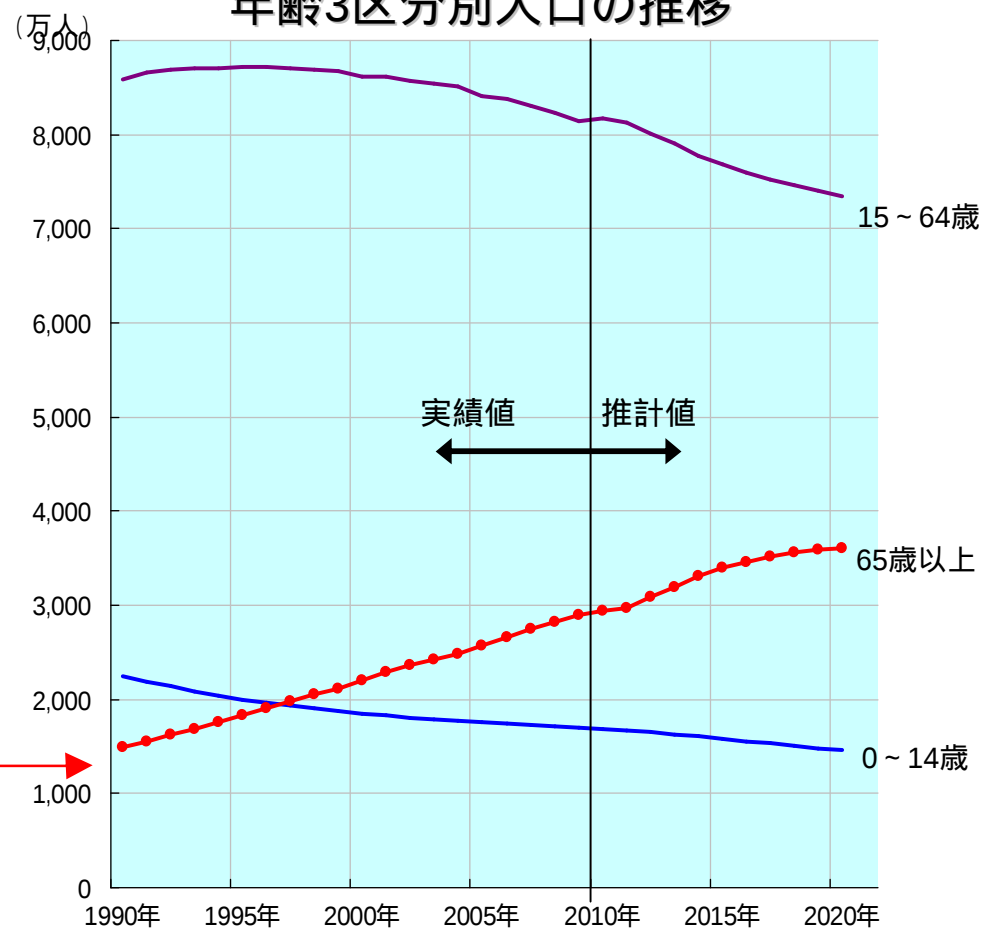
### 心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

## 中心患者(65歳～79歳)人口が増加

### 年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)

## 高齢者人口が飛躍的に増加する首都圏

### ■ 2015年までの高齢者人口の動向

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 → 《2015年》1,078万人…約320万人増加（図1）。

【高齢者人口増加率】指標：2005年を100 → 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6（図2）。

図1 高齢者の将来推計人口（実数）

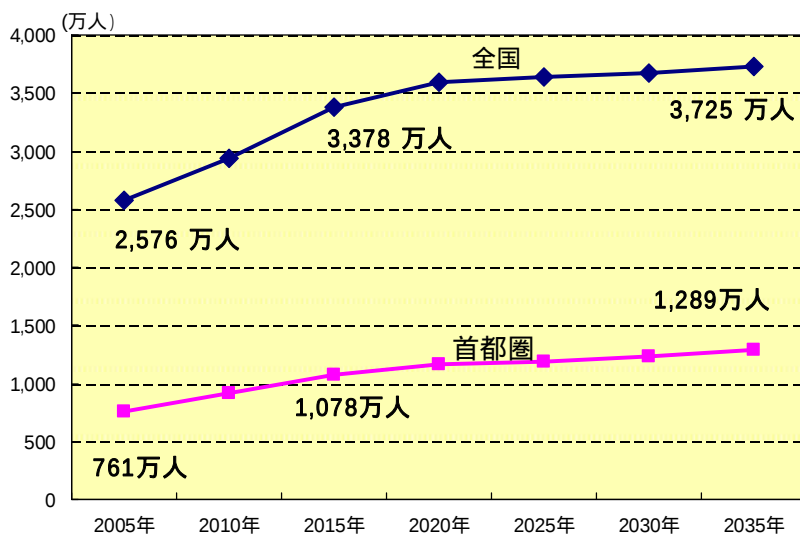
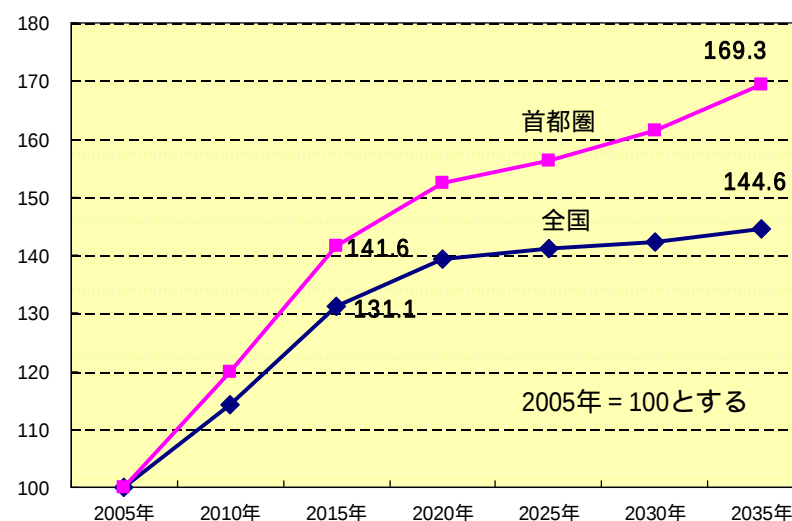


図2 高齢者の将来推計人口の指標



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）

# 心臓律動管理関連(CRS)

## ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

心筋に電気刺激を与える医療機器を体内に埋め込み、心臓に異常拍動が生じた際には電気刺激を与え、症状を抑える治療法

### ペースメーカー



心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電氣的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる

### ICD (植込型除細動器)



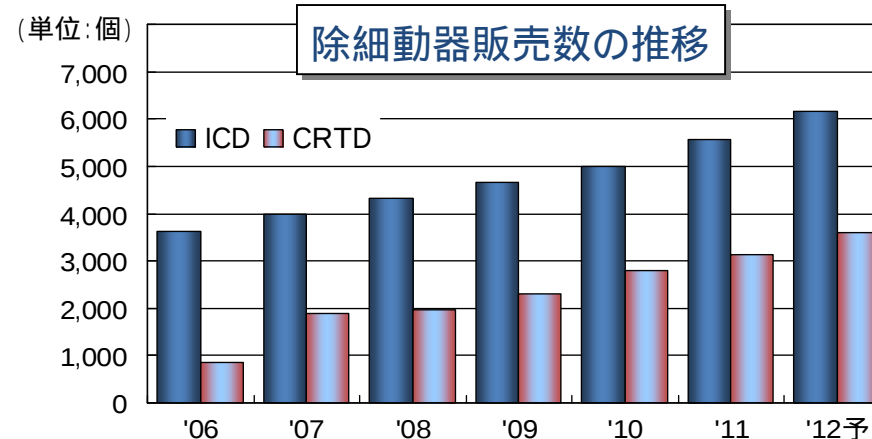
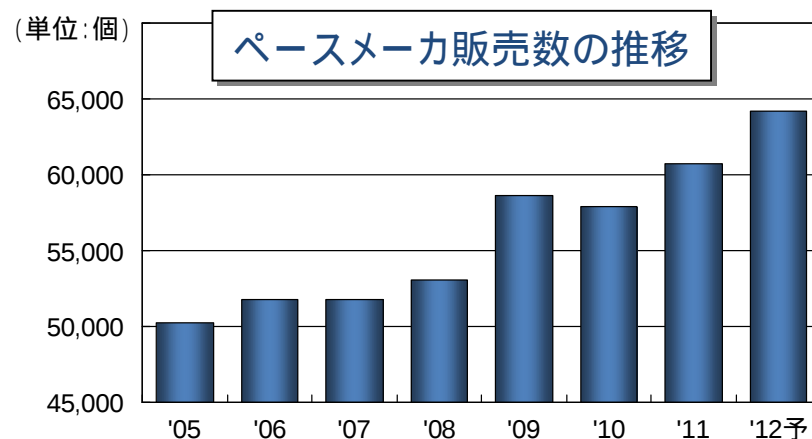
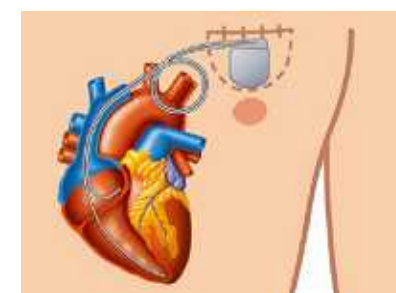
ペースメーカー機能に加えて、命に関わる症状が出た場合には、電気ショックで発作を止める機能がある

### CRTD (両室ヘーシング機能付き植込型除細動器)



ペースメーカー機能、ICD機能に加えて、心不全を治療する機能がある

### [治療イメージ]

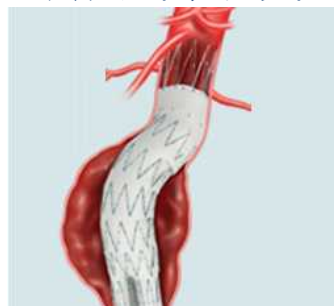


(出典) R & D「医療機器・用品年鑑2012年版」

## ステントグラフト内挿術

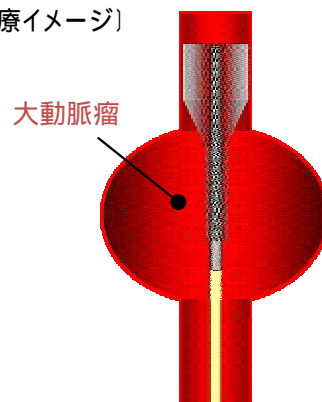
・大動脈瘤(腹部や胸部大動脈が瘤のように膨らみ、破裂すると死に至る危険がある疾患)を血管内部から治療する方法。

### ステントグラフト

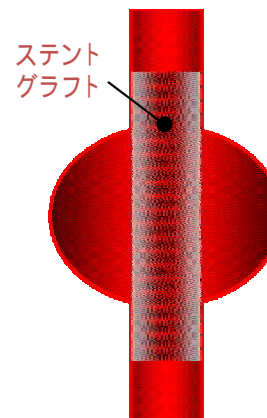


筒状の金属(ステント)がついた人工血管(=ステントグラフト)を患部で広げ、瘤内部への血流を遮断し、動脈瘤の拡大を防ぎ、破裂の危険性を低下させる。

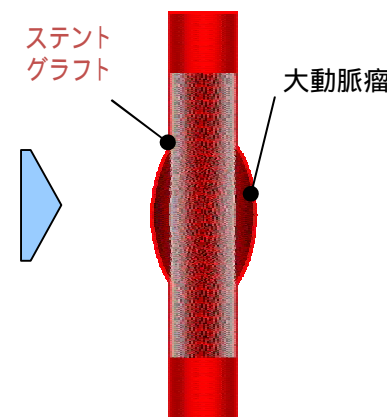
[治療イメージ]



ステントグラフトをカテーテルで患部まで運ぶ。

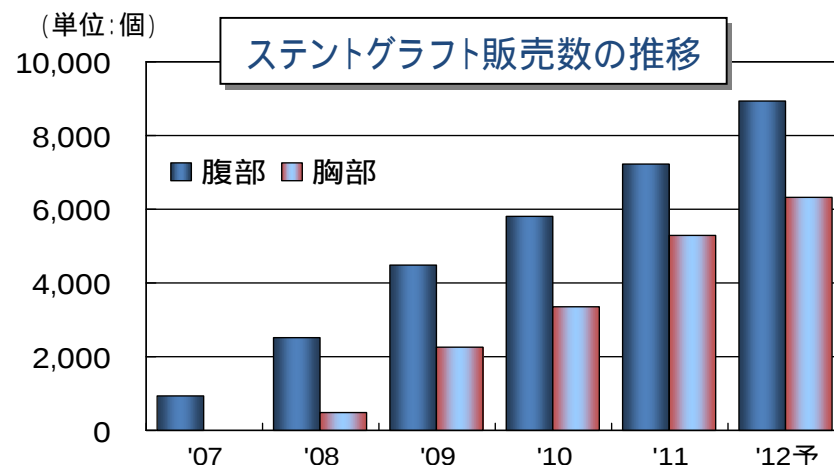


患部でステントグラフトを広げる。



瘤への血液の流れが遮断され、瘤が縮小する。

\* 縮小しない場合でも破裂の危険性は低下



従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では **低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術**が普及し始めている。

【参考】

米国の人工血管置換術の内訳(2006年)  
外科手術:ステントグラフト手術 = 4:6

(出典) R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

## 画期的なインスリンポンプ療法の導入

### インスリンポンプ

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による糖尿病の治療法
- ・患者の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能
- ・欧米では普及しているが、日本国内では普及が遅れている
- \* 現在、国内で一般的な治療法は インスリン自己注射療法

### 【糖尿病患者は2,210万人】

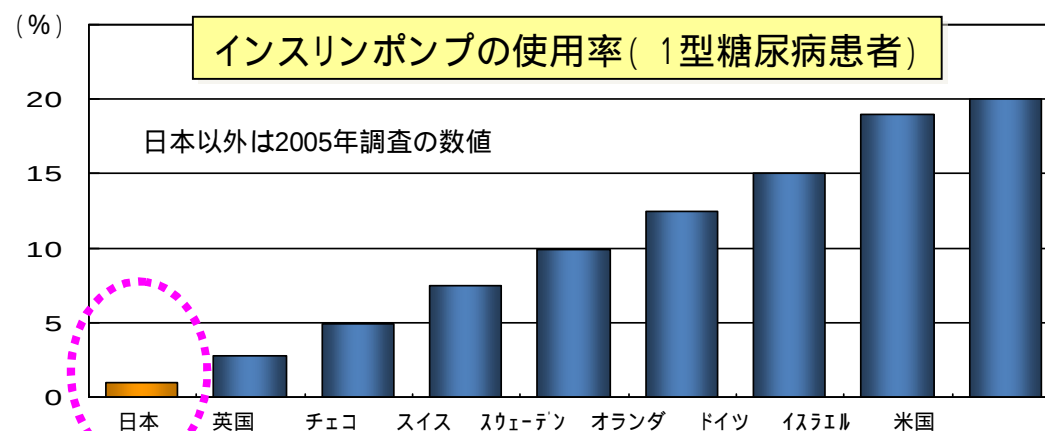
- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定 (参考:「国民健康・栄養調査(平成19年)」)
  - 糖尿病が「強く疑われる人」890万人、「可能性を否定できない人」の1,320万人

### 【業界に先駆けてインスリンポンプ療法の普及、啓蒙サポートを開始】

- ・合併症により循環器疾患となった患者にも対応
  - \* インスリンポンプ療法の普及に取り組むとともに、糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート



血糖値変動の測定データをもとに  
インスリンの持続注入を行う。



- ・日本のインスリンポンプ普及率は1%未満と推定。
- ・日本は欧米の5年前の普及率と比べても極めて低い。

## 経皮的末梢血管形成術

腹部動脈以下の下肢動脈や、頸動脈、腎動脈、上肢動脈などの血管が狭まり血流が悪化する疾患を血管内部から治療する方法。

＊PCIと比べ、マーケット規模は小さかったが、製品開発が活発化し、対象症例も増えたことから拡大が見込まれている。

### → 医療施設、医師への営業活動を強化

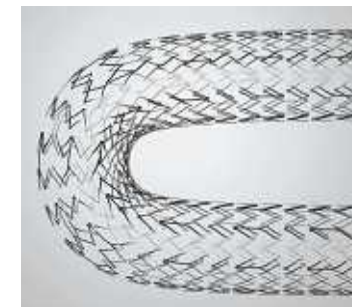
#### 診療報酬改定（手技料増額）

→ 医療施設の収益向上に寄与し、  
新規投資、症例開始、症例数増加

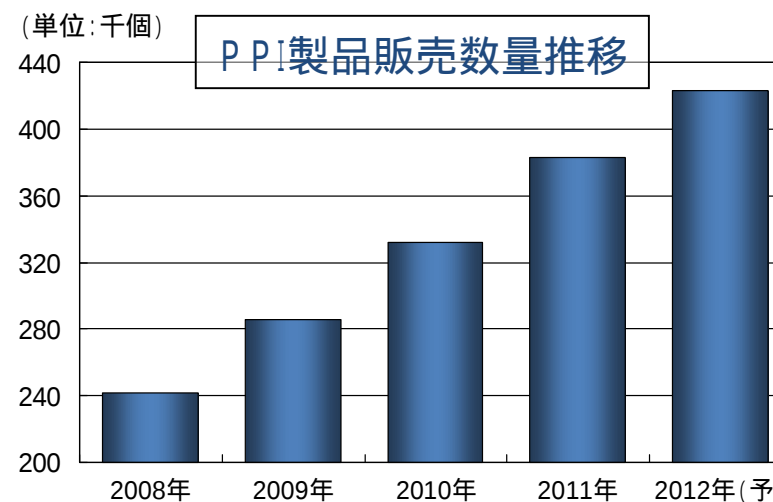
#### 末梢ステント再狭窄抑制型 (DES) が保険適用

→ 効果的な低侵襲治療方法・デバイスが増加し、  
市場全体が拡大

### 末梢ステント



太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療する筒状の網目の金属（ステント）。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。



(出典) R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

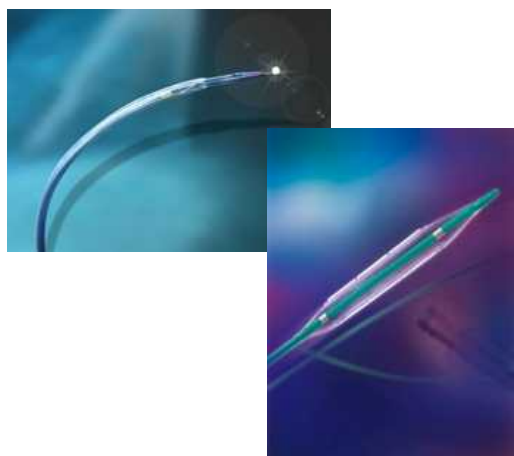
# 新しい治療法の普及、領域の拡大



## “低侵襲治療”を心臓以外へ拡大

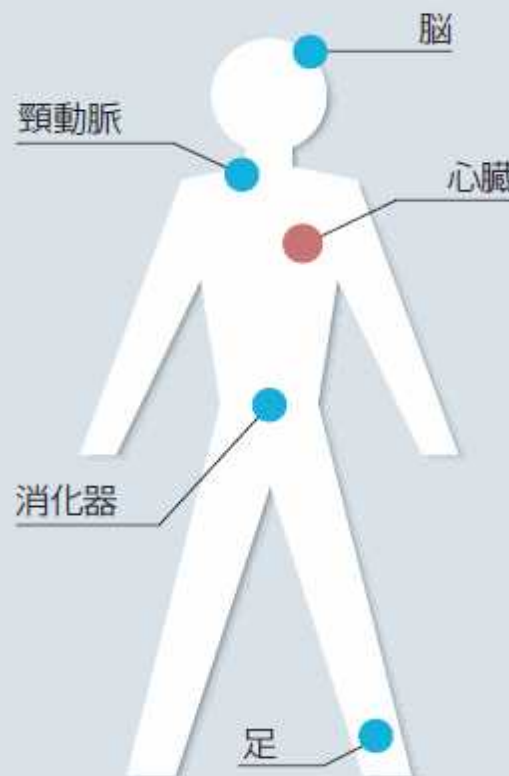
(下肢・頭頸部・腹部領域)

PTAカテーテル・マイクロカテーテル

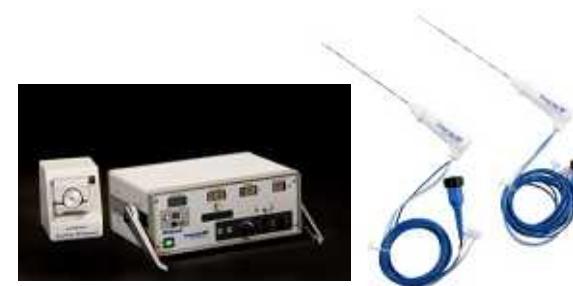


© 2005 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

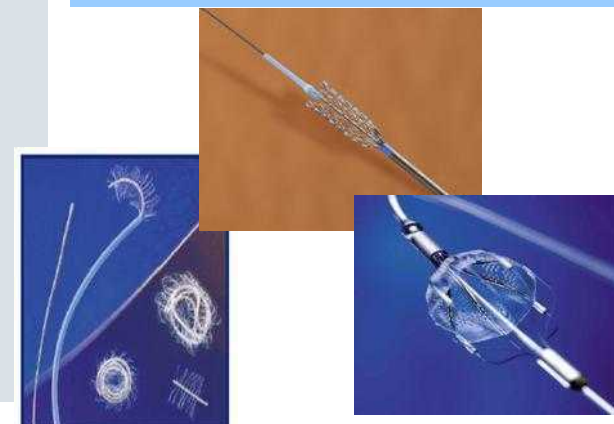
循環器領域から他科への広がり



RFAジェネレータ / ハンドピース



塞栓コイル / CAS(頸動脈ステント)



### 3. 主要子会社の状況

---

# ウィン・インターナショナル：第3四半期決算



|                 | 2011年4-12月期 |            | 2012年4-12月期 |            |              |
|-----------------|-------------|------------|-------------|------------|--------------|
|                 | 金額<br>(百万円) | 百分比<br>(%) | 金額<br>(百万円) | 百分比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) |
| 売 上 高           | 24,238      | 100.0      | 24,774      | 100.0      | +2.2         |
| 営 業 利 益         | 1,213       | 5.0        | 1,100       | 4.4        | ▲ 9.3        |
| 経 常 利 益         | 1,221       | 5.0        | 1,109       | 4.5        | ▲ 9.2        |
| 四半期純利益          | 708         | 2.9        | 675         | 2.7        | ▲ 4.7        |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 58.00       | -          | 55.32       | -          | ▲ 4.6        |
| 1株当たり純資産 (円)    | 573.40      | -          | 622.27      | -          | +8.5         |

償還改定による価格下落を数量増で吸収するが、経費増で減益

# ウィン・インターナショナル：製品別売上高



| 商品区分             | 売上高(百万円)      | 伸長率 (%)       |               | 売上高構成比(%)    |
|------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
|                  | 2012年4-12月    | 数量            | 金額            | 2012年4-12月   |
| ■ 虚血性心疾患関連 (PCI) | <b>11,317</b> | <b>+ 5.0</b>  | <b>▲ 5.7</b>  | <b>45.7</b>  |
| ■ 心臓律動管理関連 (CRS) | <b>3,646</b>  | <b>+ 21.9</b> | <b>+ 9.2</b>  | <b>14.7</b>  |
| ■ 心臓血管外科関連 (CVS) | <b>2,664</b>  | <b>+ 6.2</b>  | <b>+ 3.5</b>  | <b>10.8</b>  |
| ■ 末梢血管疾患関連 (PPI) | <b>1,329</b>  | <b>+ 9.6</b>  | <b>+ 7.3</b>  | <b>5.4</b>   |
| ■ 脳外科関連          | <b>677</b>    | <b>+ 10.2</b> | <b>+ 9.8</b>  | <b>2.7</b>   |
| ■ 糖尿病関連 (DMS)    | <b>371</b>    | -             | <b>+ 52.2</b> | <b>1.5</b>   |
| ■ その他            | <b>4,770</b>  | -             | <b>+ 12.8</b> | <b>19.3</b>  |
| ■ 合計             | <b>24,774</b> | -             | <b>+ 2.2</b>  | <b>100.0</b> |

# ウィン・インターナショナル：第3四半期決算の総括



## 【決算のポイント】

売上高2%増： 4月の償還価格改定の影響(約9%のマイナス要因)を販売数量増で吸収

売上総利益率0.3ポイント悪化： P C I関連製品の減収

営業利益9%減： 経営統合費用(38百万円)、人件費(73百万円)等の経費増

## 【主な取り組み】

### ■ 人員の強化(前年同期末比較:+20名)

\* 新規開設の出張所(山口、札幌)、強化エリア(四国)、成長分野のDMS(糖尿病関連)に人員を重点配置

### ■ 新製品の販売拡大

\* M R I対応ペースメーカー(メドトロ\_アドバイザーM R I)、末梢血管用 D E S(クック\_ジルバP T X)等

### ■ 成功報酬プログラム等のメーカーとの条件交渉を推進



上期の減収から第3四半期(10 - 12月)は増収に

# ウィン・インターナショナル：通期予想

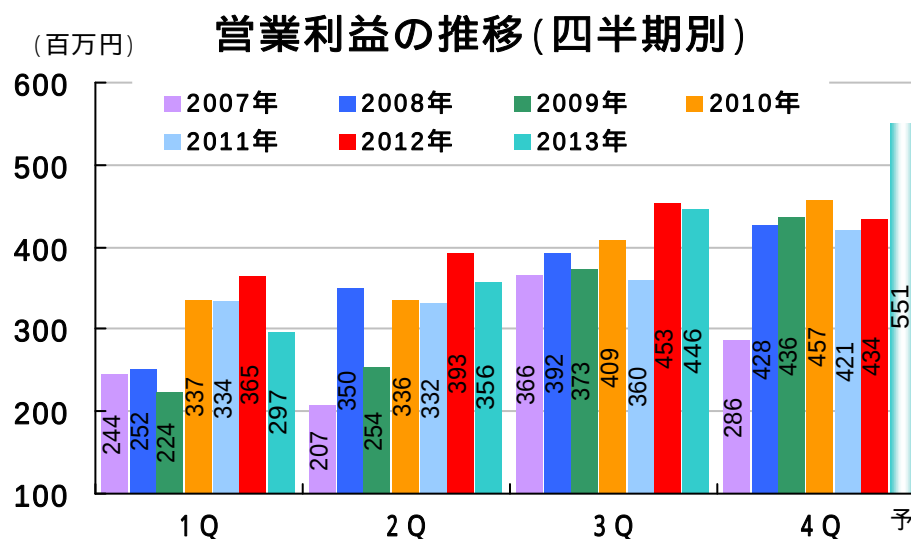
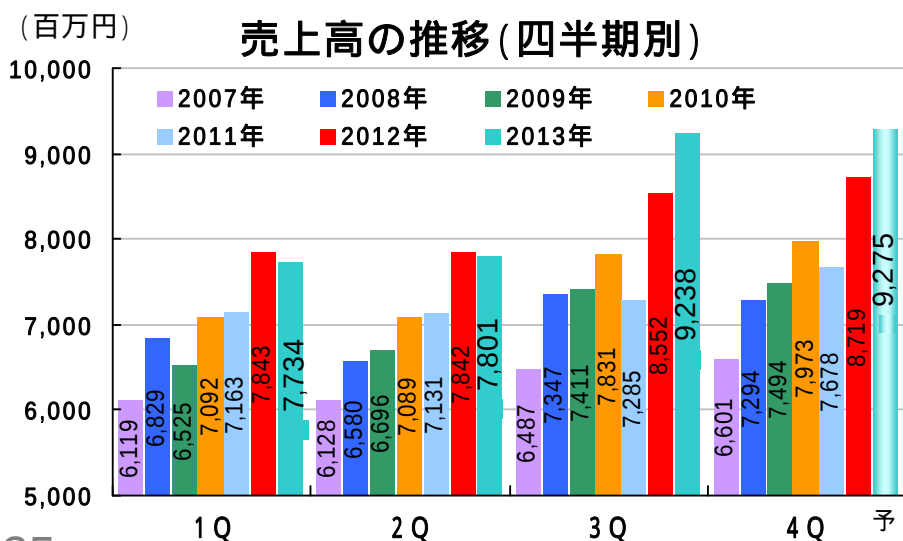
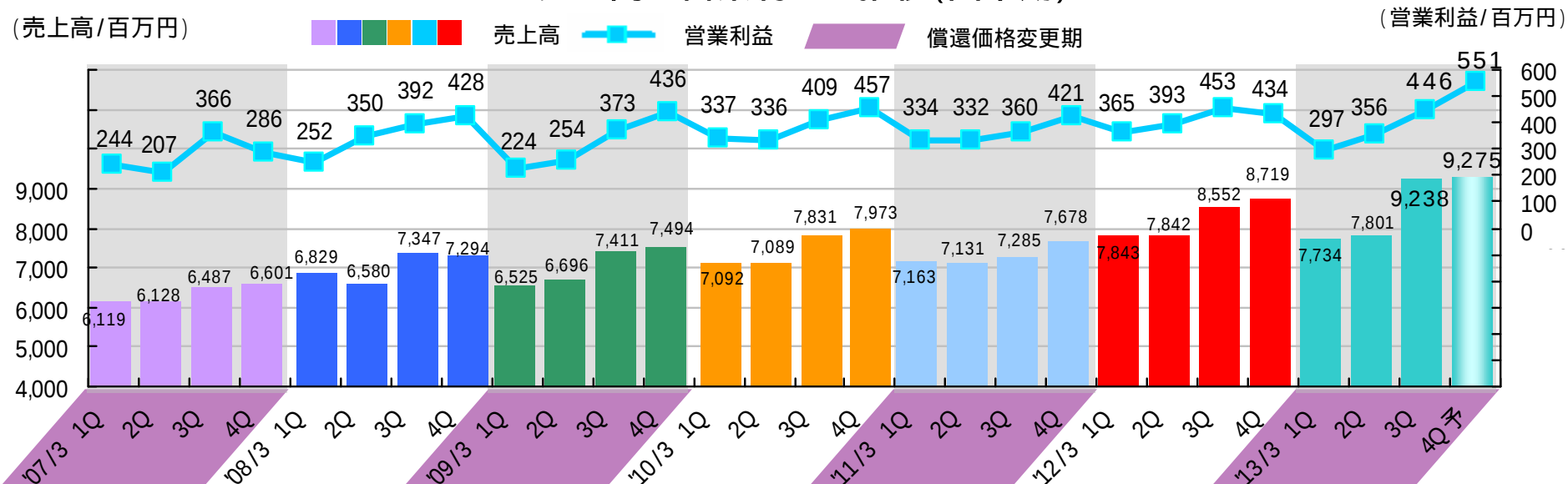


|             | 2012年3月期<br>(前期実績) |            | 2013年3月期<br>(今期予想) |            |            |
|-------------|--------------------|------------|--------------------|------------|------------|
|             | 金額<br>(百万円)        | 百分比<br>(%) | 金額<br>(百万円)        | 百分比<br>(%) | 前期比<br>(%) |
| 売上高         | 32,957             | 100.0      | 34,049             | 100.0      | +3.3       |
| 営業利益        | 1,648              | 5.0        | 1,652              | 4.9        | +0.2       |
| 経常利益        | 1,657              | 5.0        | 1,657              | 4.9        | +0.0       |
| 当期純利益       | 955                | 2.9        | 1,009              | 3.0        | +5.7       |
| 1株当たり純利益(円) | 78.23              | -          | 82.74              | -          | +5.8       |
| 1株当たり配当金(円) | 28.00              | -          | 29.00              | -          | +3.6       |

# ウィン・インターナショナル：四半期業績推移



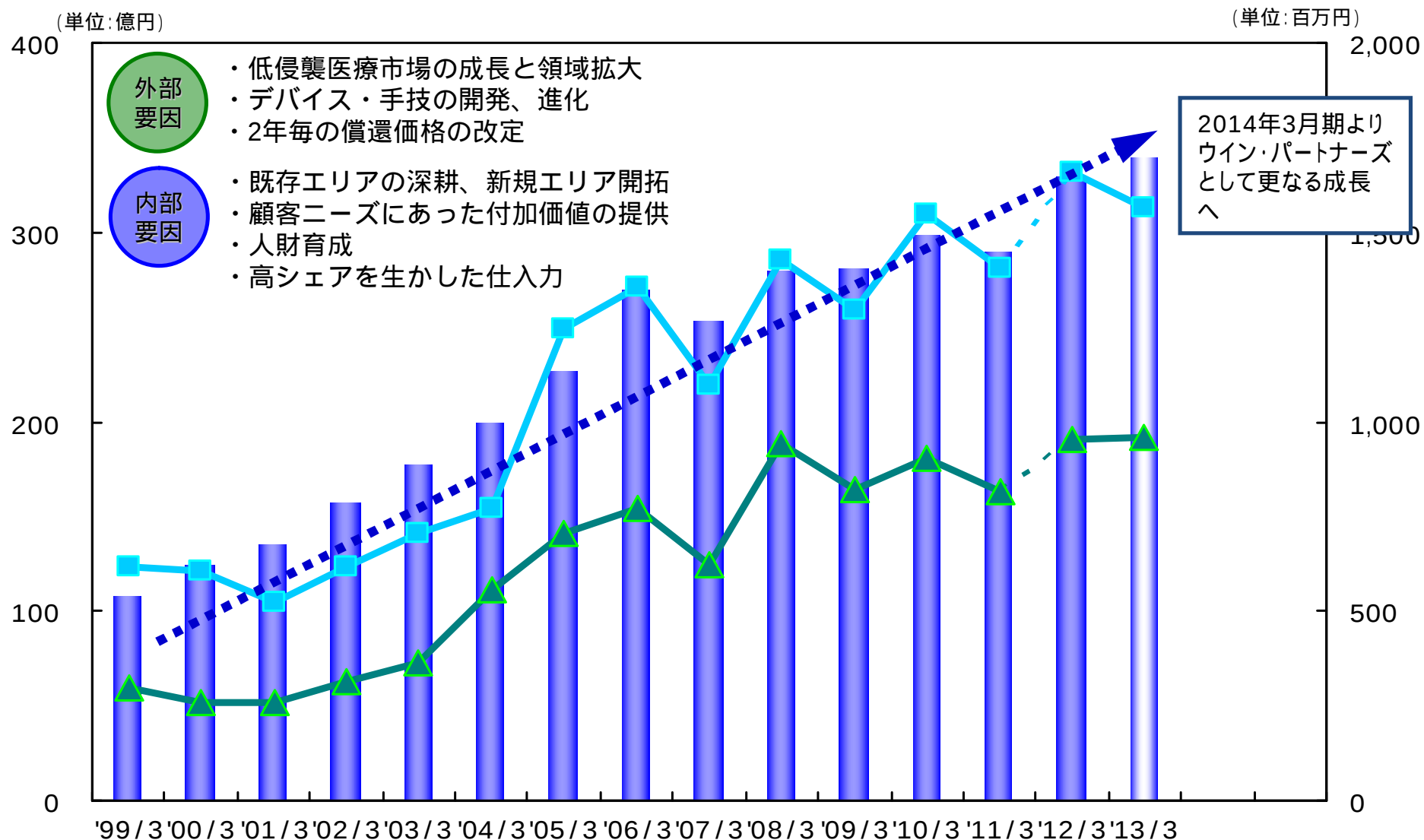
## 売上高 / 営業利益の推移 (四半期)



# ウィン・インターナショナル：通期業績推移



■ 売上高(左軸) ■ 経常利益(右軸) ▲ 当期純利益(右軸)



## 4 . 株主還元

---

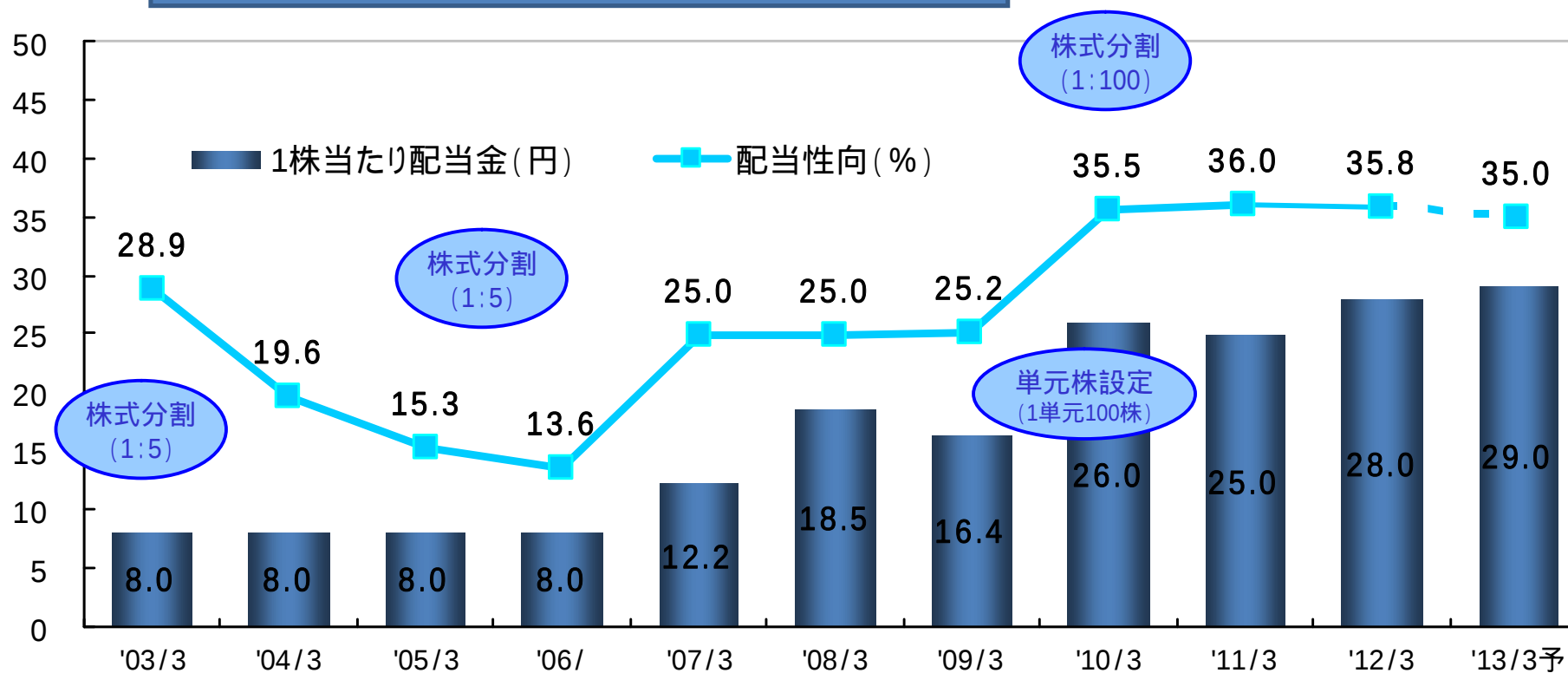
# 配当方針



業績、経営基盤の強化および将来の事業展開等を総合的に勘案し、利益還元いたします

(単位: 円、%)

## ウィン・インターナショナル 配当実績



## WIN A BETTER QUALITY OF LIFE すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2013年4月16日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

### 本資料に関するお問合せ先

---



ウイン・パートナーズ株式会社

総務部 IR

TEL: 03-6895-1234 FAX: 03-5688-0891

HP: <http://www.win-partners.co.jp>